

LOSER





「う...」

「やっぱり本してますね...
えりなお嬢様」

「まあそれはそれとして
今夜はそのドスケベボディ
たっぷり堪能しますねw」



「じゃあ最初にそのデカパイでパイヌリしてもらおうか♪」

「ーっっっっっっっっっっ」

「えりな様のおっぱいはいいやバっ
そのまま動かして♡」

ん

ぎゅ

ぎゅ

「んっっっっっっっっっっ」

にゅ

「良いよ...そのままフエラもして」

じゅぽ

にゅ

じゅぽ

「ああ〜エリナ様のパイフエラやバっ！
そろそろいっちゃいそうだよ」

ぎゅ

にゅ

ぎゅ

「射精る！」

んぐ

んぐ

んぐ

んぐ

「えりな様のパイフェラ、
やばすぎて射精ちやったわw」

はあ

んぐ

んぐ

んぐ

んぐ

「じゃあ
メインディッシュに行こうかなあ」

「うわあ...えりな様
おマンコとろつとるだね
もしかして今直やりたいの?」

「そ...そんなわけ...」

「まあまあ...
恥ずかしいがらないで
今からオレのデ○ポで
気持ちよくしてあげますよ?」

んっ

くはぁっ

「そんじゃあ
トロトロマン○頂きます♡」

くはぁっ

びん

あぁ



「おっ！気持ちよすぎてヤバッ！
「もう」も「一級品」じゃんえりな様♡」

あつ♡
奥まで入ってるっ！

「このままされちゃうと私...
変になっちゃう...♡♡♡」









「ふー、えりな様
まだまだ夜はこれからだよ」



















